

総武鉄道・物井川橋梁



小林美久氏撮影

四街道市立文庫所蔵史料
現在「四街道市立文庫所蔵史料」に収められた明治27年（西暦1894年）の
物井川橋梁建設の記録である。この記録は、物井川橋梁の建設に
関する詳細な情報を提供している。この記録は、物井川橋梁の建設
の経緯、工事の進捗、そして完成後の様子について詳しく述べて
いる。また、この記録には、当時の社会状況や交通の発展について
の背景も提供している。この記録は、物井川橋梁の歴史を学ぶ
上で非常に貴重な資料である。この記録は、物井川橋梁の建設
の歴史を学ぶ上で非常に貴重な資料である。この記録は、物井川
橋梁の建設の歴史を学ぶ上で非常に貴重な資料である。この記録
は、物井川橋梁の建設の歴史を学ぶ上で非常に貴重な資料である。
明治二十七年三月五日 四街道市教育委員会

◀ 四街道市が立てた説明看板です。

▶ ルート変更後の現鹿島川橋梁です。印旛沼からの灌がい用の川として作られた川で、現在は物井川ではなく鹿島川となっています。



総武本線物井～佐倉間にある物井川橋りょう跡の橋台です。明治27年に市川～佐倉間かつて総武鉄道として開通した際に建設され、国有化後、昭和43年2月に複線化、ルート変更され旧ルートは廃止されました。メジャーな遺構なので、四街道市が説明看板を立てました。[増田明彦]